

富良野市中小企業資金融資制度の改正(案)について

◆富良野市中小企業資金 新規貸付実績と市負担(保証料・利子補給額)の推移

資金名		24年度		25年度		26年度	
中小企業振興 資金	新規貸付(千円)	18	91,470	38	257,380	48	303,700
	保証料(円)	19	1,143,577	32	1,870,629	37	2,595,660
	利子(円)	39	591,168	68	1,895,247	106	3,687,291
商工業パワー アップ資金	新規貸付(千円)	5	22,140	8	38,100	6	19,500
	保証料(円)			6	323,193	5	235,372
	利子(円)	15	487,048	22	621,486	26	859,852
小口緊急特別 資金	新規貸付(千円)	10	43,800	11	44,500	8	35,500
	利子(円)	23	576,383	26	610,532	23	434,351

⇒ 制度改正

【融資制度改正(25年度以降)による主な動向】

- ・既存事業者向けの中小企業振興資金の新規貸付が大幅に増加
- ・それに伴い、市の利子や保証料負担が増加
- ・24年度に中小企業振興総合補助金(ソフト事業)をリニューアル(店舗改修補助や家賃補助など)して以降、商工業パワーアップ資金の新規開業向けのチャレンジ資金の貸付が増加

【融資制度改正後の富良野金融協会、富良野商工会議所・山部商工会の評価と課題】

- ・総体的には借入件数が増加するなど借入者や金融機関からも好評
- ・一方で、現行の貸付限度額が低く、増額に対する要望

【融資制度改正(28年度以降)に至る背景】

- ・25年度に融資制度を見直してから2年が経過
- ・原材料等の高騰、消費税増税、電気料金値上げなど経済環境の変化
- ・地方創生、人口減少対策など商工業振興から融資制度の弾力的な対応
- ・北海道の中小企業総合振興資金の大幅な改正(H27.8.3～)

【改正(案)のポイント】

①貸付限度額の増額

→中小企業振興資金、商工業パワーアップ資金(チャレンジ資金)、小口緊急特別資金

②貸付利率の引き下げ(△0.2%)

→市の貸付利率の設定は、道融資(一般経営資金)と歩調

③創業予定者、創業間もない方への支援拡充

→据置期間の設定・・・初期償還時の負担軽減

④小口緊急特別資金：市の助成の組替

→「約定利子の1%補給」⇒「保証料の全額補給」

→融資対象者の拡大、融資の円滑化、融資決定のスピード化

⑤本市基幹産業の農業を軸にした6次産業化を後押しする融資の創設

→商工業パワーアップ資金【経営強化(農畜産物活用)資金】

【改正(案)作成に至るまでに経過】

- ・金融協会(支店長)、商工会議所・商工会との会議を2回(8月・10月)
- ・金融協会、商工会議所・商工会より書面による要望を踏まえ検討

【改正後の市の財政負担(推測)】

- ・今回の改正(案)は、市の助成(利子補給・保証料補給)を拡充しない(=小口緊急のみ組替)ものの、貸付限度額の増額や貸付利率の引き下げなど借入者にとってはメリットもあり、借入件数や融資総額の増額が見込まれ、市の財政負担は増えていくことが想定される。